

2012 Japan National Team Report "sailor"



報告者	クラブ B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 学年 8 氏名 西村 宗至朗		
大会名	世界選手権		
開催地	イタリア		
大会期間	2013年7月16日~25日		
セーラーNo	JPN 3270	最終順位	178位

- 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中(mamet@silverzaq.jp)までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は思っていたよりも暑かったです、水温はかなり低く、水に濡れると寒かったです。持ち物には、パッドジャケトラウザー、ウエットスーツなど全て持参しましたが、実際にはトラウザーにうっせでした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	午前中は陸風、午後から海からの風になりレースが終わる夕方頃にはなくなるといった感じでした。波は大きく叩かれる訳ではないが、しかりボディアクションをしなければならぬ難しい波でした。
セッティングで注意したこと	風が強い時もあったので、出帆延前にガウミとブーイングベンドの調整をしました。技術的な面では、セールを少し出した時にリーチが大きく開かないようにバレーをしっかりとつけたという鈴木コーチからのアドバイスを3頁に入れました。
セーリングで注意したこと	常にフラットの状態を保つためにハイアウトを注意しました。また、スタート後のトップスピードも心がけていました。
海上で練習したこと	はじめに3人と2人におりれてタワやボディアクションといった動作確認をした後、全員でスピード練習をしました。時間があれば外国の選手とコース練習をした時もありました。

実際のスベリはどうでしたか？	良い走りをしている時もありましたが、やはり外国の選手とはかなり差がありました。
スタートは、どうでしたか？	上の方はほとんどシンカボールの選手が独占しており、なかなか入ることが出来ませんでした。ほとんどが真ん中スタートでうまく前にもることが出来ませんでした。
コース戦略はどうでしたか？	スタートで下位になってしまつたら、自分か思っているコースがとれず、逃げのつりが多かったです。日本のレースとは違って、上位に挽回することが難しかったです。
自分より上位の選手との違いは？	スタート、コースとり、スピードなどです。
国内の練習で役立ったこと	NT合宿で行ったフットスタートが役に立ちました。
国内の練習で足りなかったこと	確実に有利なサイドからスタートすること、チームレースの技の応用が少し足りなかったと思いました。
印象に残った外国選手は？	シンカボールの選手です。スタートも完璧でスピードや上り角度もすごかったです。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	船中の用意、片づけのはやさ、時間の管理の仕方が今までに比べて、さらに上達したと思います。
今後の課題と目標は？	この世界選手権で学んだ、スタート、コースとりなどすべてのことを頭に入れ、それを自分のものに出るように頑張りたいです。
JODAへの要望	特になし
その他	世界選手権を支えてくださつた方々、ありがとうございました。また、応援してくださつた方々も、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会